

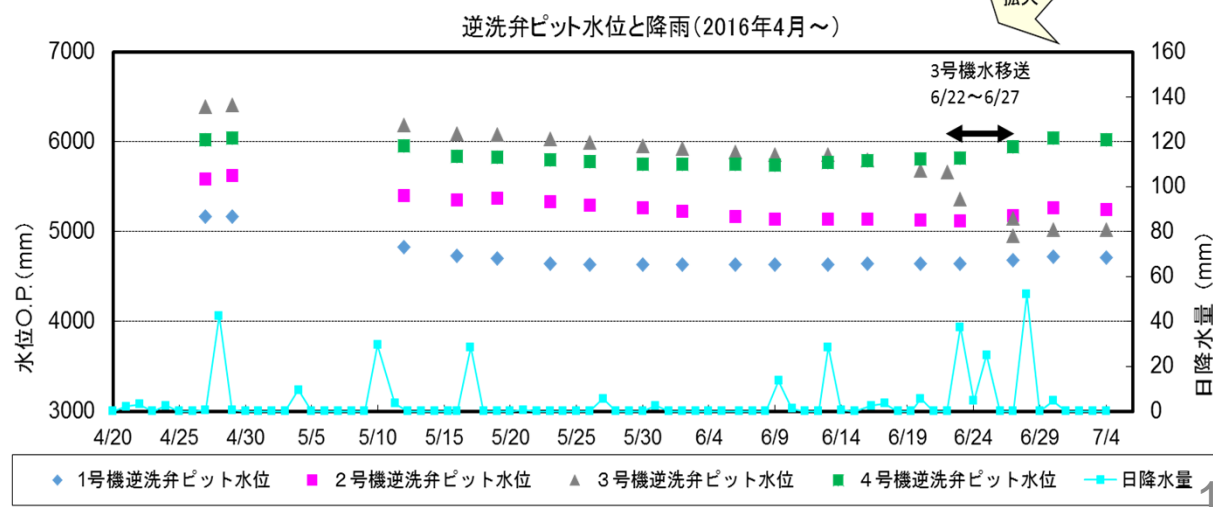
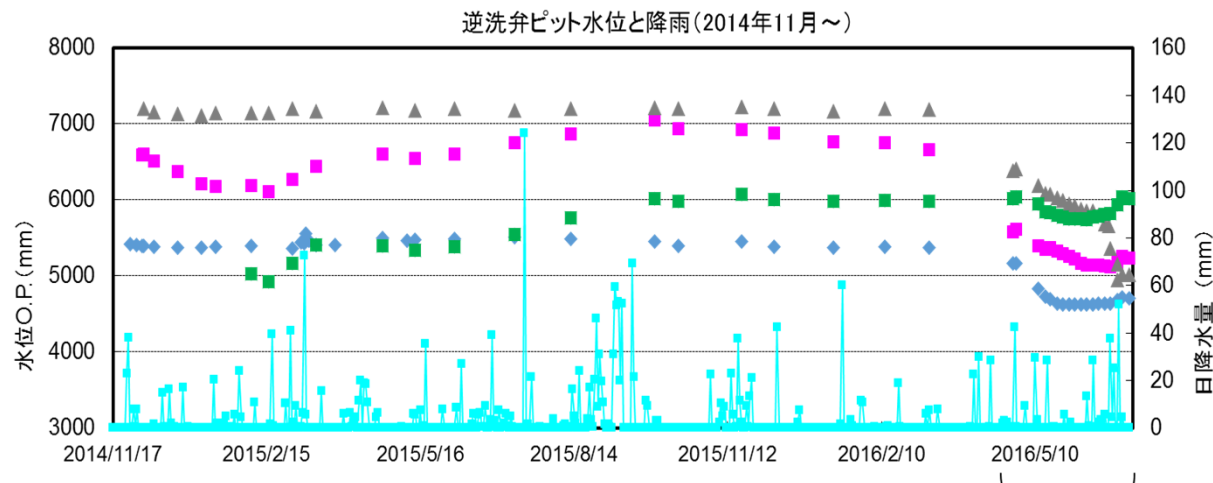
# 福島第一原子力発電所 逆洗弁ピットの水位低下に関する対応状況について

< 参 考 資 料 >  
2016年7月6日  
東京電力ホールディングス株式会社

## ○各逆洗弁ピットの水位の現状

降雨の影響は見られるものの、全体として安定した状況

- 1号機逆洗弁ピットについては、5/23以降ほとんど水位変化はない。(屋根設置済)
- 2号機逆洗弁ピットについては、6/9以降水位の変化は小さくなり、6/23以降の降雨により水位が上昇。
- 3号機逆洗弁ピットについては、6/22～27に約300m<sup>3</sup>の溜まり水を移送。移送終了後は水位が安定。
- 4号機逆洗弁ピットについては、5/30以降水位の変化は小さくなり、6/23以降の降雨により水位が上昇。



## ○3号機逆洗弁ピットからの水の移送実績

3号機逆洗弁ピットの溜まり水の水位を下げて流出を抑制するため、6/22～6/27の間、溜まり水の移送を実施した。

### 【実施内容】

・3号機逆洗弁ピット北側にポンプを下ろし、配管下端(O.P.5.0m)を下回るまで、3号機タービン建屋に溜まり水の移送を行った。

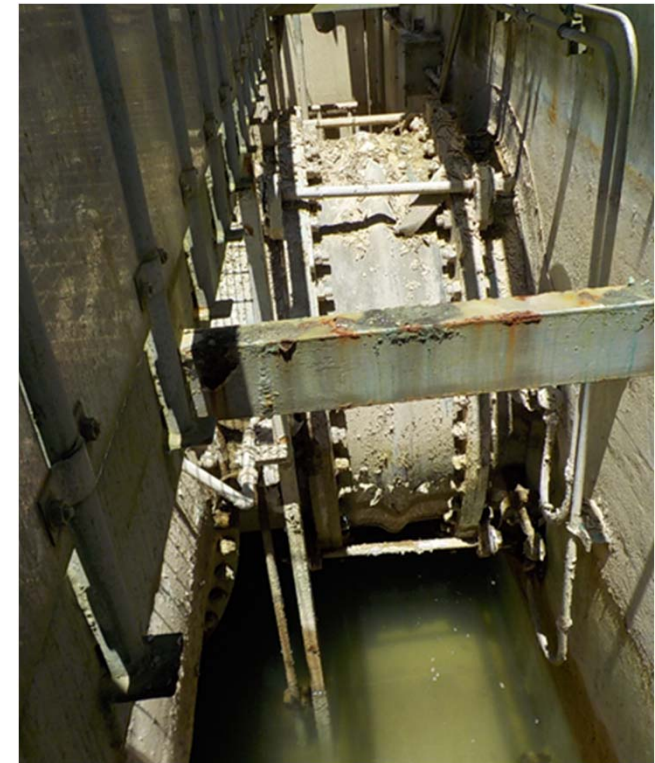
・移送実績(合計約300m<sup>3</sup>)

6/22(水) 約100m<sup>3</sup> 移送前水位 O.P.5.66m

6/24(金) 約110m<sup>3</sup>

6/27(月) 約90m<sup>3</sup> 移送後水位 O.P.4.95m

なお、移送前後で、ピット周辺の雰囲気線量に変化は見られなかった。



6月27日移送終了後の配管貫通部(海側)

## ○今後の対応

---

- 1号機逆洗弁ピットについては、5月下旬以降水位は安定した状況にあり、屋根も設置済みであることから、水位の測定頻度を元に戻して(1回/月)監視を継続する。
- 2, 4号機逆洗弁ピットについては、水位の低下は落ち着き、安定した状況にあることから、水位の測定頻度を元に戻して(1回/月)監視を継続するとともに、対策必要性を検討していく。
- 3号機逆洗弁ピットについては、水位の低下は何らかの環境変化により配管貫通部付近で外部とつながる隙間が拡大したためと考え、水位が配管下端を下回るまで溜まり水の移送を行った。移送終了後、1週間監視を行ったが、水位の低下は見られていない。
- 3号機逆洗弁ピットについては、現在雨水流入抑制用の屋根を設置中であり(7/5開始)、設置完了まで水位の監視強化(1回/週)を続け、設置完了時点で低下が見られない場合は、水位の測定頻度を元に戻して(1回/月)監視を継続する。